

課題研究（共通科目）

教科	工業（建築インテリア）	単位数	3	学科・学年	建築インテリア科 3年
使用教科書					
副教材等	ワークシート、専門科目の教科書、担当教員が配布するプリント				

「課題研究」はどんな科目？

建築インテリア科で2年間学習してきた総まとめとして、課題研究の類型である①ものづくり、②調査研究、③資格取得、④産業現場実習、の4類型から具体的な課題（テーマ）を自ら設定して、その課題に取り組めます。

「課題研究」の学習の特徴は？

学科の類型の枠をはずして、建築インテリアに関わる課題を設定します。自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力を身につけるとともに、課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識・技術を身に付けます。また、発表会等を通して、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を育てます。

「課題研究」で大切なこと（留意点）は？

- ① 自ら学ぶ意欲を育てよう！
 - ② 課題解決の能力を育てよう！
 - ③ プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を育てよう！
- また、ものづくりで一番大切なことは「安全作業」です。特に木工機械を扱うときには、ケガをしないように注意事項を厳守して、服装を正し、心の準備をして作業に取り組むことが大切です。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
1 学期	4		*自ら課題を設定（テーマ）し、その課題に取り組むことで、そこで生じた問題に対し、解決する能力を育てることができる。 また、企業に出向き、ものづくり体験（産業現場実習／木製家具製作）することで、知識や技術を体験的に学習することができる。とともに、キャリア教育の高揚を図ることができる。
	5	○ ガイダンス	
	6	① テーマ決定	
	7	② 調 査	
2 学期	8	③ 分析・総合	・テーマ別にグループ（個人）を編成し、課題を決定する。
	9	④ 計 画	・課題の目的を明確にし、課題に対するデータ収集等をする。
	10	⑤ 設 計	・調査結果を整理し、目的に適合する仕様を総合的に決定する。
	11	⑥ 製 作	・研究をスムーズに進めるため、作業計画・役割分担をする。
	12	⑦ 実 施	・設計製図する。
3 学期	1	⑧ ま と め	・作品製作する。
	2 3	⑨ 発 表	・中間発表することで、作品・仕様・設計・計画を評価し、問題点を見つけ、問題を解決する改善案を考え、再検討して実行する。 ・研究をまとめ、発表準備をする。 ・研究内容を発表（プレゼンテーション）する。また、展示発表する。

2 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、4つの観点から各パート毎に行います。

観点	評価規準	評価内容
関心・意欲・態度	課題に対して主体的にテーマを設定し、計画的に学習ができる。 自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探求的・創造的な能力を自ら養おうとしている。	行動観察（出欠状況） 報告書
思考・判断・表現	目的と内容を理解し積極的に取り組み、建築インテリアに関する諸問題の適切な解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。また、協調や話し合いの進め方を身に付け、結果をまとめ、その成果を的確に表現している。	作品評定 レポート 発表内容（プレゼン能力）
技能	建築インテリアの専門分野に関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理できている。	行動観察 （安全作業、製作技術） 作品評定
知識・理解	建築インテリアの専門分野に関する基礎的な知識を身に付け、産業界の発展と環境との調和の取れた在り方や現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、報告書等の内容がしっかりまとめられ、自分なりの考察が記入されている。	報告書 レポート

また、1年間の評定は、年間を通じて総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

実技を伴う授業は、専門高校の一番の特徴ある科目です。また、建築インテリア科の生徒として「勉強している」ということを、一番感じることができる科目だと思います。

課題研究は、建築インテリア科で学んだいろいろな知識や技術を結集して取り組むことができる、総まとめの科目です。自ら設定した課題に対して自分の力を全て出し、素晴らしい作品づくり等に取組んでください。

- ① 自ら学ぶ意欲と態度を育てよう！
- ② 課題解決の能力を育てよう！
- ③ プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を育てよう！